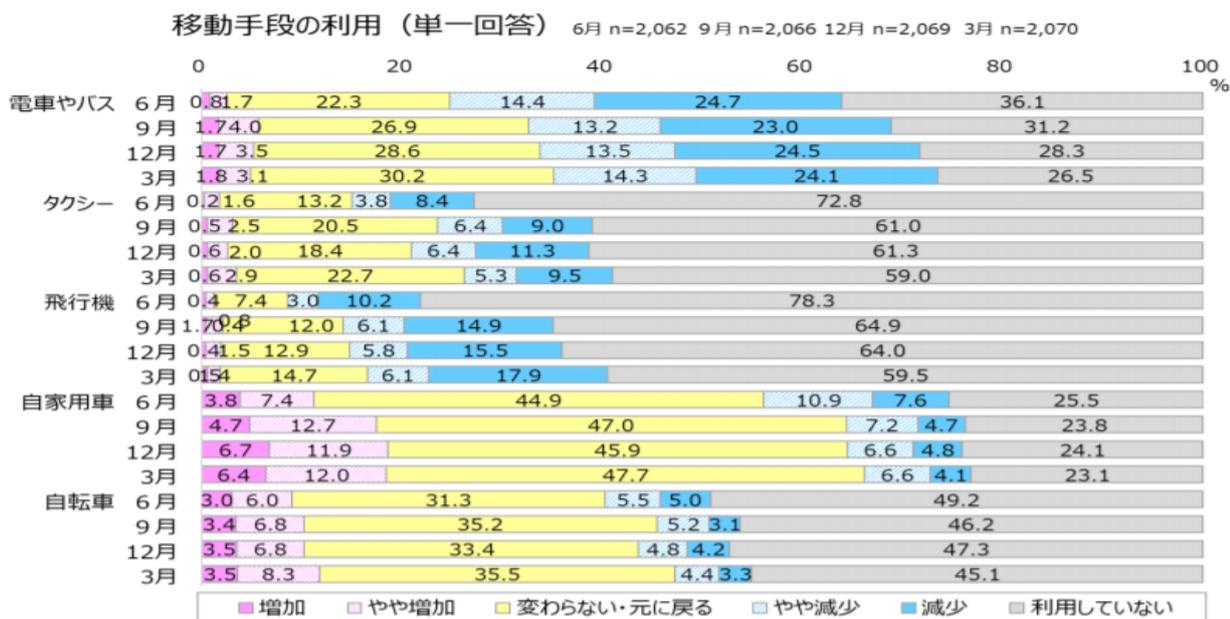




マイカーは安全？

思考停止から抜け出そう！

■新型コロナウイルスの感染拡大が始まり 1 年以上が経過した。昨年の今頃は、この時期には収束しているだろうと思っていた事態も、ここにきて加速しており交通崩壊を通り越して、街崩壊も辞さない事態となってきた。ところでそんな中、興味深いデータを見つけた。ニッセイ基礎研究所が発表している調査結果である。



※ニッセイ基礎研究所「第4回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」より
 これによると、昨年より一貫して電車やバスの利用が減少し、自転車や自家用車にシフトしている傾向が伺える。「人ごみを避けること」や「ソーシャルディスタンス」が聞き慣れてきて、家を出た瞬間から人との接触を避けられるマイカーは感染症対策において最も安全な乗り物である、という認識が広まりつつあるのだと推測される。

■しかし、今一度冷静になって考えてほしい。世の中の脅威はコロナなだけではない。当然ながら車の運転には交通事故などのリスクが伴う。以下に示した通り、2020年の岡山県内における事故件数は46000件を超えており、人身事故に限定しても4300件近くに及ぶ。感染症を怖がる気持ちはとてもよく分かるが、慣れない車を運転して誰かを傷つけてしまっては意味がない。外出控えもあり過去と比べるとなり減少しているが、それでもこの件数である。

交通事故発生状況（令和2年中）

1 発生状況

区分	総事故件数	人身事故						物損事故	
		発生件数	うち死亡事故		重傷	軽傷	負傷者計		
			件数	死者数					
令和2年	46,272	4,288	61	62	507	4,333	4,840	41,984	
前年対比	増減数	-7,839	-402	-12	-13	-10	-465	-475	-7,437
	増減率	-14.5	-8.6	-16.4	-17.3	-1.9	-9.7	-8.9	-15.0
過去5年平均	57,274	7,474	79	81	695	8,104	8,799	49,800	
過去5年平均対比	増減数	-11,002	-3,186	-18	-19	-188	-3,771	-3,959	-7,816
	増減率	-19.2	-42.6	-23.2	-23.6	-27.0	-46.5	-45.0	-15.7

※岡山県警察本部交通部交通企画課「交通事故発生状況(令和2年中)」より抜粋

■また、経済状況によって安易に車を買う決断を下すことが出来ない人がほとんどではないだろうか。手元にある資料でマイカーの維持にかかる費用を比較的安上がりな軽自動車で計算してみたところ、1ヶ月あたり4万円近く必要になることが判明した。「金がない」と言う声はよく聞こえてくるが、車を手放すだけで年間数十万円浮く。「車がないと生活できないから必要経費」と捉えることもできるが岡山では公共交通を活用すれば十分生活できる地域がまだ多く残っている。事故リスクも考えれば、相当なコストがかかっている。

■電車やバスに乗るのが怖い、という気持ちは尊重すべきものである。だから車で移動すれば安全という理屈も自然ではあるが、別のリスクも想定し冷静な判断を下す必要があるのではないだろうか。すでに今年のダイヤ改正では全国的に大きく減便や路線の廃止が相次いだ。この調子ではコロナが終息する

ころ、そして車を運転できなくなった頃には自由に移動できる社会は消滅しているだろう。そうならないためにもコロナ禍を機に、地域全体で公共交通を最低限維持する仕組みを考える必要がある。一步立ち止まって、思考停止状態から抜け出し、社会の在り方を再構築することなしにこの危機を乗り越えることは不可能であろう。

120万円の軽自動車を買って10年使うと仮定すると・・・

	年間	月平均
自動車税	¥10,800	¥900
自動車重量税	¥12,300	¥1,025
自賠責保険料	¥12,400	¥1,033
任意保険料	¥50,000	¥4,167
車検代	¥25,000	¥2,083
メンテナンス費用	¥15,000	¥1,250
ガソリン代	¥84,000	¥7,000
駐車代	¥120,000	¥10,000
※減価償却費	¥120,000	¥10,000
合計	¥449,500	¥37,458

※車代を使用年数で割って算出。

NPO 法人公共の交通ラダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15 禁酒会館3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

